

SDGs・美術ワークショップ

SUITOPIA  
CENTER  
—  
OGAKI CITY  
CULTURAL  
FOUNDATION

# アクション ペインティング に挑戦しよう！

2023 / 6/3 (土) 13:30-16:00

大垣市スイトピアセンター 創作実習室 (学習館 5 階)

[定員] 16 組 (対象：小学生以上、小学 3 年生以下は保護者同伴) [参加料] 500 円

[申込み] WEB にて (要無料会員登録)

【申込】 1 次 (抽選) 5/5 (金) - 11 (木)  
2 次 (先着) 5/19 (金) 10:00 -



協 力：サンメッセ株式会社

廃材として捨てられてしまう大きなロール紙をキャンバスにドリップングやスパッタリング、スタンピングなど、身体を使った簡単な動きと偶然性によって生まれる作品制作を体験してみませんか？  
捨てられてしまう身近な素材を使って楽しみましょう！

- プログラム (予定) -

1. SDGs・アクションペインティングって何？
2. ヘラを使って色紙を作ってみよう！
3. みんなで描こう！
4. 何に見えるかな？

汚れても差し支えない服装でご参加ください。  
タオル等、汚れを拭くものをご持参ください。

主 催：公益財団法人 大垣市文化事業団  
問合せ：0584-82-2310

[www.og-bunka.or.jp](http://www.og-bunka.or.jp)



SDGs・美術ワークショップ 「アクションペインティングに挑戦しよう！」

Program / プログラム 13 : 30 - 16 : 00

はじめに…概要説明 (5 分)

Program 1 : SDGs・アクションペインティングって何？ 13 : 35 - 13 : 50 (15 分)

- ・ 今回キャンバスとして使う大きなロール紙や SDGs について
- ・ 身体を使ったアート表現の事例紹介。

Program 2 : ヘラを使って色紙を作ってみよう！ 13 : 50 - 14 : 20 (30 分)

- ・ アクリル絵の具を使って、偶然から生まれる不思議な色紙を作ります。  
3~5 枚程度制作。黒いフレームをあてがうと素敵な作品に早変わりします。

(休憩 10 分)

Program 3 : みんなで描こう！ 14 : 30 - 15 : 00 (30 分)

- ・ 廃材として捨てられてしまう大きなロール紙をキャンバスに共同制作を行います。  
4 グループに分かれてグループごとに 2 つの作品を完成させます。  
①壁面吊りの用紙と②床置き用の用紙
- ・ プログラム 1 で学んだ「ドリップング」や「スタンピング」など、様々な技法を使って体験します。

(休憩 5 分)

Program 4 : 何に見えるかな？ 15 : 05 - 15 : 25 (20 分)

- ・ プログラム 3 で作成した作品をそれぞれにタイトルをつけます。  
同じ作品でも、色々な見え方ができます。  
各グループで 2 作品完成したら、1 組で 1 つのタイトルをつけ、各グループ 2 作品×4 つのタイトルの作品、計 8 作品が完成します。  
※プログラム 2 で作った色紙が乾いたら、黒いフレームをあてがって、何に見えるか考えてみましょう。

おわりに…まとめ、展示についての説明。 (5 分)

アンケート記入

プログラム 2・3 では、アクリル絵の具を使用します。  
衣服等に付着すると落ちないので、注意してください。

# プログラム1 : <sup>エスディーゼーズ</sup>SDGs・アクションペインティングって何？<sup>なに</sup>

はじめに、SDGs やアクションペインティングについてスライドを見て学びました。

## <sup>サステイナブル</sup>SDGs(<sup>ディベロップメント</sup>Sustainable <sup>ゴールズ</sup>Development Goals : <sup>じぞくかのう</sup>持続<sup>かいはつもくひょう</sup>可能な<sup>開発目標</sup>開発目標)とは…

わたし たちの住む地球は、数多くの課題に直面しています。このままでは安定した暮らしができなくなる危機感から、2030年までに達成すべき具体的な目標をたてました。今回のワークショップでは、その取り組みとして、キャンバスに廃材ロール紙を使用しました。

## アクションペインティングとは…

「ジェスチャル・ペインティング」とも呼ばれ、絵の具をキャンバスに丁寧に塗って完成させる絵画ではなく、飛び散らせたり、汚しつけたりするような手法で完成させる様式です。第一人者は、アメリカ生まれの画家、ジャクソン・ポロックで、絵の具缶から直接絵の具を滴らせる「ドリップ・ペインティング」という独自のスタイルをつくり、絵画芸術に革新をもたらしました。その他、日本では、白髪一雄、篠原有司男、小松美羽などがいます。

## プログラム2：へらを使<sup>つか</sup>って色紙<sup>いろがみ</sup>を作<sup>つく</sup>ってみよう！

アクリル<sup>え</sup>絵<sup>ぐ</sup>の具<sup>しよく</sup>を3色<sup>えー</sup>、A4上質紙<sup>じようしつし</sup>の上にチューブから配置<sup>はいち</sup>し、へらで強く引<sup>つよ</sup>くと、色<sup>いろ</sup>が混<sup>ま</sup>じり合<sup>あ</sup>って不思議<sup>ふしぎ</sup>な色紙<sup>いろがみ</sup>ができあがりま<sup>おな</sup>した。同<sup>いろ</sup>じ色<sup>つか</sup>を使<sup>ま</sup>っても全<sup>ま</sup>く違<sup>ちが</sup>う色紙<sup>いろがみ</sup>ができあがりま<sup>ま</sup>す。

### つ<sup>つく</sup>か<sup>かた</sup> 作<sup>つく</sup>り<sup>かた</sup>方<sup>かた</sup>

- ①約80色<sup>やく</sup>の絵<sup>しよく</sup>の具<sup>え</sup>から3色<sup>ぐ</sup>選<sup>しよく</sup>びま<sup>えら</sup>す。
- ②3色<sup>しよく</sup>の絵<sup>え</sup>の具<sup>ぐ</sup>をチューブから紙<sup>かみ</sup>の上<sup>うえ</sup>に配置<sup>はいち</sup>しま<sup>す</sup>す。
- ③絵<sup>え</sup>の具<sup>ぐ</sup>を紙<sup>かみ</sup>にへらで強くこすり<sup>つよ</sup>つけるよう<sup>うご</sup>に動<sup>え</sup>かすと、絵<sup>ぐ</sup>の具<sup>ま</sup>が混<sup>あ</sup>ざり合<sup>あ</sup>った部分<sup>ぶぶん</sup>から不思議<sup>ふしぎ</sup>な色<sup>いろ</sup>があらわれま<sup>す</sup>。



ほ<sup>ほか</sup>か<sup>いろ</sup>いろ<sup>ぎ</sup>ほ<sup>た</sup>め<sup>め</sup>  
そ<sup>ほ</sup>の<sup>いろ</sup>他<sup>ぎ</sup>にも、色<sup>た</sup>々な<sup>め</sup>技<sup>め</sup>法<sup>め</sup>を<sup>め</sup>試<sup>め</sup>しま<sup>め</sup>した。





## えが なに プログラム3：みんなで描こう！・プログラム4：何にみえるかな？

4つのグループに分かれ、準備された道具や素材、各自持参したものを<sup>つか</sup>使って、  
自由なアクションで描いていきます。1グループ4組(人)で真っ白な長い<sup>はいざい</sup>廃材口  
<sup>し</sup>紙の<sup>たて</sup>縦作品1枚、<sup>よこ</sup>横作品1枚をつくりあげました。  
各グループで2作品、完成したら、1組(人)で1つのタイトルを<sup>かんが</sup>考えます。同じ作品  
でも自由な<sup>じゆう</sup>発想・<sup>みかた</sup>見方で、<sup>さまざま</sup>様々なタイトルになりました。  
作品につけた<sup>はっぴょう</sup>タイトルの発表もしてもらいました。

### しょう ざいりょう どうぐ ぎほう 使用した材料・道具・技法

えのぐ え ぐ  
絵具：アクリル絵の具・ポスターカラー

からだ て あし  
身体：手・足

どうぐ ふで きりふ かんしょうざい しかん かなあみ は だん  
道具：筆、霧吹き、プチプチ、緩衝材、紙管、金網、歯ブラシ、段ボール、プラカップ

ホウキグサ、モミジバフウの実、マツボックリ

など

かんせいさくひん はんたいがわ かべ てんじ なに み  
完成作品は、反対側の壁に展示してあるよ。何がみえるかな？タイトルをつけてみてね。

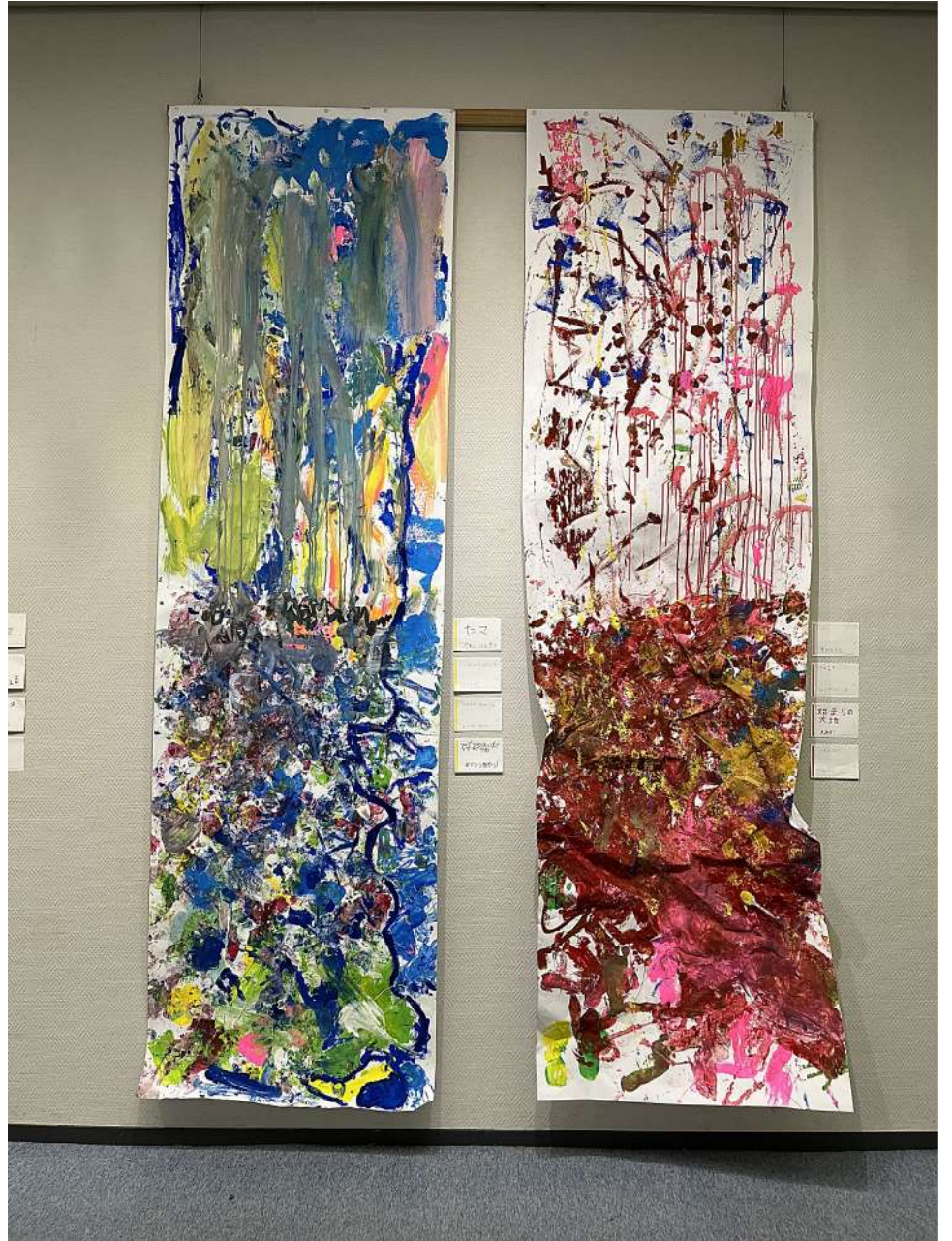




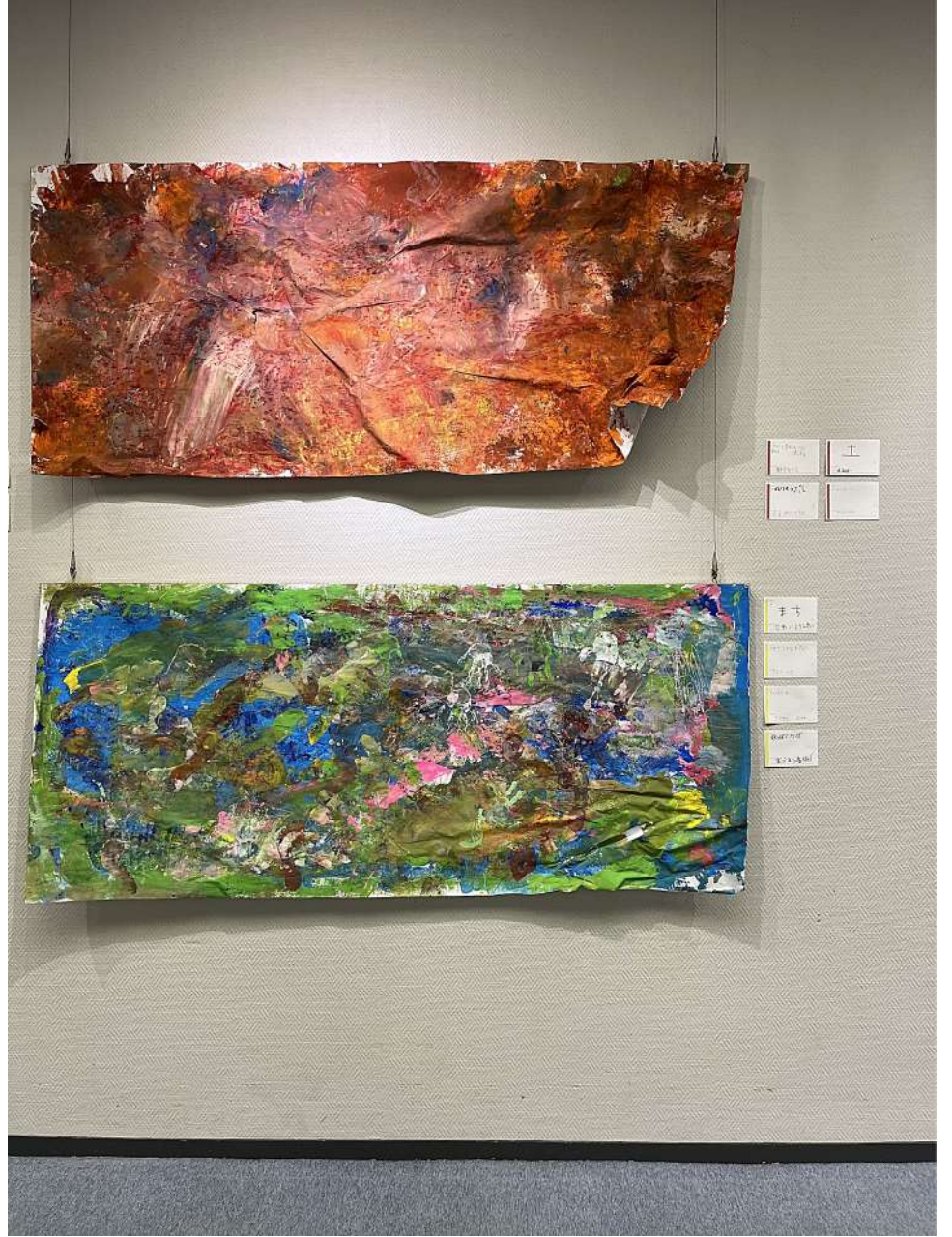














# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



公益財団法人 大垣市文化事業団では、持続可能な開発目標 (SDGs: Sustainable Development Goals) の取り組みを行っています。仕事と生活の調和をはかることのできる働きやすい職場環境づくりのための研修やアサガオのグリーンカーテンを設置することでの省エネや緑化、木枠コンポストを使った堆肥作り、植物を使ったワークショップなどを行っています。



研修



アサガオのグリーンカーテン



木枠コンポストを使った堆肥作り



伐採枝を使ったWS「飾りすだれをつくろう！」

## きょう りよく きぎょう 協 力 企 業

かぶしきがいしゃ

# サンメッセ株式会社

今回のSDGs・美術ワークショップ

「アクションペインティングに挑戦しよう！」で使用した、台紙となる廃材のロール紙をご提供いただきました。幅約89cmのロール紙を縦作品(3m)・横作品(2m)で使用しました。



未使用の状態のロール紙



廃材ロール紙のキャンパス



廃材ロール紙



昨年度開催「それいけモザイク！大お絵かき」  
廃材ロール紙キャンパスを使用(横 26.7 cm × 縦 3.6m)